

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2002-1073 (P2002-1073A)
 【公開日】平成 14 年 1 月 8 日 (2002.1.8)
 【出願番号】特願 2000-181036 (P2000-181036)
 【国際特許分類】

B 0 1 D 71/82 (2006.01)
A 6 1 M 1/02 (2006.01)
A 6 1 M 1/16 (2006.01)
B 0 1 D 61/24 (2006.01)
B 0 1 J 20/26 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 71/82 5 0 0
 A 6 1 M 1/02 5 4 0
 A 6 1 M 1/16 5 1 3
 A 6 1 M 1/16 5 1 7
 B 0 1 D 61/24
 B 0 1 J 20/26 H

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 15 日 (2007.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】アニオン性基含有成分を化学結合で導入した材料を膜素材とし、膜中に該アニオン性基が 0.1 mol % 以上、3 mol % 未満含まれ、アルブミンの篩い係数が 0.1 ~ 2 % であることを特徴とする選択除去膜。

【請求項 2】該アニオン性基がスルホン酸基、カルボキシル基および燐酸基から選ばれることを特徴とする請求項 1 に記載の選択除去膜。

【請求項 3】カチオン性物質を選択的に除去することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の選択除去膜。

【請求項 4】該カチオン性物質が分子量 7 万以下であることを特徴とする請求項 3 に記載の選択除去膜。

【請求項 5】該カチオン性物質がソマトスタチン、血小板第 4 因子、リゾチームから選ばれる少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 4 に記載の選択除去膜。

【請求項 6】血液透析用もしくは血液濾過用に用いることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の選択除去膜。

【請求項 7】請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の選択除去膜を内蔵してなることを特徴とする血液処理器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【課題を解決するための手段】

本発明者らは、鋭意研究を進めた結果、特定量のアニオン性を持つ物質を導入することにより、カチオン性の物質の選択除去を可能にする膜を見出し、本発明をなすに至った。すなわち本発明は以下の構成を有する選択除去膜およびそれを用いた血液処理器である。

「(1) アニオン性基含有成分を化学結合で導入した材料を膜素材とし、アルブミンの篩い係数が0.1～2%であることを特徴とする選択除去膜。

(2) アニオン性基含有成分を化学結合で導入した材料を膜素材とし、アルブミンの篩い係数が0.1～2%であることを特徴とする選択除去膜を内蔵してなる血液処理器。」

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

【表1】

吸着物質	初期濃度	pI	MW	実施例1	比較例1
				吸着率%	吸着率%
アルブミン	2200mg/dl	5.6	66500	6	4
PF-4	3380ng/ml	8.7	7769	37	16
リゾチーム	23.7 μ g/ml	9.1	14700	37	11
ソマトスタチン	46pg/ml	9.2	1638	35	11